

6) 総合防災航空センター（仮称）[H27 年度]

【施設の特徴】

総合防災航空センターは、災害時に緊急出動を行う九州における広域防災の拠点施設。倉庫や水回りの低層部を鉄筋コンクリート造とし、上部の居室やヘリ格納庫を木造としています。120 角程度の正角の流通材を用いた架構で、県産木材の活用による木質化を目指しています。



(建物外観)

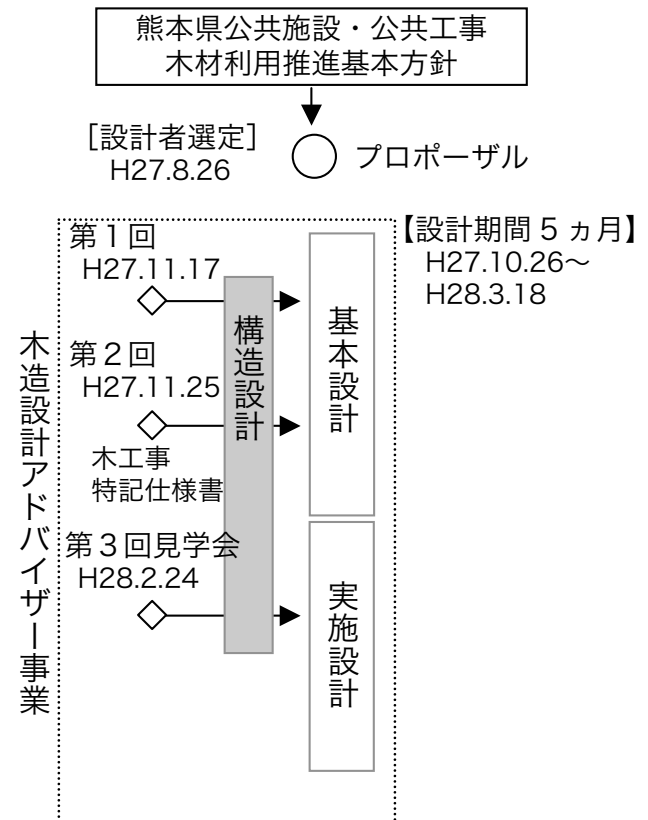


(建物内観)

【総合防災航空センターの概要】

所在地：熊本県菊池郡菊陽町戸次字東中尾地内
 構造・階数：木造一部 RC 造 平屋建て
 延べ面積：1,908.55 m²
 建築主：熊本県
 設計：アトリエ・シムサ+ライト設計共同企業体
 使用木材数量：300 m³（見込み）
 （杉 300 m³）
 工事：H28 年度～H29 年度（予定）

【事業の流れ】



(県立熊本かがやきの森支援学校見学会)

【設計者の感想】

講習会で一般論的な話は身に付かない事が多いが、アドバイザー制度は現場に即した話なので、聞いてすぐ実践に役立てられるところが良い。見学会も、実際の納め方や、反りや割れ等の問題点とか参考になり、設計の改善すべきところを気付かせてくれた。



設計担当者
 (株)ライト設計 松村一幸氏、佐藤健太郎氏